



樋井川の護岸崩壊の現場工事に立会う



企業団体で県政報告を行いました



8年間続ける朝の街頭活動



城南区の各地区の餅つきに参加



ドクターヘリの現場を視察



新春賀詞交歓会で新年のご挨拶



「政治を分かり易く」が私の信条です



新年のお参りに七隈の菊池神社を訪問



毎年校区の歳末防犯夜警活動に参加しています



学生インターン生と共に活動しています



政治を身近に感じてもらう活動

PROFILE もりやまさ と 正人

福岡県議会議員  
 昭和40年 6月21日/福岡市生まれ  
 昭和59年 3月/西南学院高等学校卒業  
 平成 元年 3月/西南学院大学商学部商学科卒業  
 平成 元年 4月/近畿日本ツーリスト(株)入社  
 平成 8年10月/衆議院議員秘書(国会内)  
 平成16年12月/(株)九電ビジネスフロント入社

新社会推進・商工委員会委員  
 国際交流推進対策調査特別委員会委員  
 福岡県日米友好議員連盟副会長  
 福岡県都市計画審議会委員  
 民主党福岡県第2区総支部幹事  
 九州電力総連組織内議員  
 西南学院高等学校同窓会評議員  
 福岡県スポーツ議員連盟事務局長

〒814-0104 福岡市城南区別府6-2-10  
 TEL 092-851-3679 FAX 092-851-3670  
 e-mail: macmac0621\_1965@mail.goo.ne.jp  
 ホームページ <http://moriya-masato.info/>  
 facebook 更新中

地域の声を県政に活かす!

福岡県議会議員(福岡市城南区)

もり や まさ と  
**守谷正人**

MORIYA REPORT

県政報告 2015.春 Vol.24

地域の声を  
 県政に活かす!



2期8年の  
 経験と  
 実績

今日と明日、そして未来への責任!

地域の皆さまの声や想いを県政に反映させる事が私の一番の仕事です。  
 そのために多くの方々と直接会って  
 地域のつなぎ役として対話を続けてきました。  
 これからも地域の皆様の想いをしっかり受けとめ  
 初心のまま全力でその使命を果たして参ります。  
 地域の声を政治に活かし、明るい福岡県の未来を創っていきます。

福岡県議会議員 守谷正人



守谷議員は、2期8年にわたり、景気・雇用対策調査特別委員会の委員長や地方分権推進対策調査特別委員会の副委員長など、数々の要職を歴任し、県政の発展を力強く支えていただいております。

地元城南区では、福岡都市高速道路環状線の開通により、交通の利便性が飛躍的に向上しています。また、先生の御尽力により、樋井川の河川改修工事など、住民生活の安全・安心を図る対策も着実に進んでおります。

守谷議員には、今後とも、福岡市、福岡県の発展のため、益々の御活躍を心から祈念いたします。



議会と執行部は県政運営の両輪、小川知事とガッチリ握手

福岡県知事 小川 洋

# 2月定例県議会について

## ◆平成27年度暫定予算総額6,445億円(4~7月分)

今任期で最後となる平成27年2月福岡県議会定例会が2月9日から24日まで16日間の日程で開催され、「平成27年度福岡県一般会計暫定予算」など58議案、追加提案された「平成26年度福岡県一般会計補正予算」など26議案の合計84議案と飲酒運転撲滅条例改正案を原案どおり可決し、終了しました。今回は4月に知事選を控えているため、4~7月分のみ暫定予算総額6,445億円が提案されました。知事選後に改めて予算案を組み直し、6月議会に提案されます。暫定予算の総額は前年度当初予算の38.6%で、公共事業は同57.6%の1,193億円が計上されました。

## ○危険ドラッグ撲滅対策に4,012万円

昨年12月にわが会派の提案で成立した、危険ドラッグ規制条例では知事が対象薬物を指定できるようになったため、危険性を確かめる実験費用や啓発費用など撲滅に向けた対策費4,012万円や県警の危険ドラッグ鑑定機器整備にも669万円が計上されました。



## ◆平成26年度一般会計補正予算213億円

経済対策費213億4,687万円を盛り込んだ補正予算など26議案が議決されました。国の交付金を活用して消費喚起対策約41億円、人口減少対策約12億4,000万円が計上されています。補正予算にはほかに県庁に移動式水素ステーションを整備する約7,000万円や事前防災減災対策となる河川・防砂の整備に約50億2,000万円等があげられました。

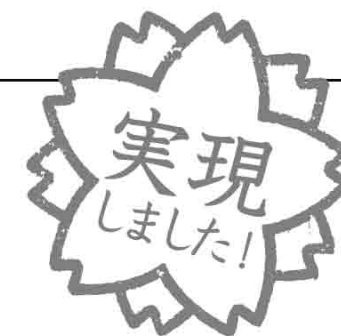
## ○地域商品券250億円分発行に助成

今回の補正予算では商店街をはじめ地域経済の活性化を図るため、プレミアム付き地域商品券の発行助成費約15億5,200万円が計上されました。これは市町村と連携して、商工会議所・商工会や商店街が行なう地域商品券の発行を支援するものです。例えば、1万円で1万1,000円から1万2,000円の商品券を購入して特定の市内、町内、商店街で買い物ができ割り増しの一部に相当する額や事務費等を県や自治体が負担します。地域商品券は、昨年4月から今年1月までに県内の129団体が約121億円分を発行し個人消費の下支えに貢献しました。今回は、前年度に比較して約2.2倍の助成費となり、県内で総額約250億円分の地域商品券の発行を見込んでいます。



# 議会での質問について(2期目4年間)

地域の皆さんの声を議会に届けることが私の一番の仕事です。県民の皆さまの生活が少しでも良くなるように経済・雇用・地域振興、教育、福祉、治安、環境、議会改革など多岐に渡る課題に積極的に取り組んできました。これからも現場を歩き、対話するスタイルを続け、知事、教育長、県警本部長に質問、要望を続けて参る所存です。



## まごころ製品の拡大について(平成24年度 決算特別委員会)

まごころ製品(障がい者が作る製品やサービス)の認知と拡大について質問しました。これを受け、大規模商談会の開催やウェブサイトの開設、県庁での積極活用など売り上げが拡大しました。しかし、障がい者の収入総額は10億円(就労継続支援B型事業所)を突破しましたが、一人当たりの収入月額1万3,000円程度とまだまだ小額です。引き続き、障がい者の皆さんを積極的に応援して参ります。

## グリーンアジア国際戦略総合特区(景気雇用対策調査特別委員長として)

環境を軸とした産業拠点の形成を目指す「グリーンアジア国際戦略総合特区」の推進を景気雇用対策調査特別委員長として訴えました。その後、自動車、半導体、産業用ロボット、レアメタルリサイクル等の分野を中心に開発・生産拠点化が進み制度を活用した設備投資が1,000億円、新規雇用も670人が見込まれています。引き続き、産学官が一体となって特区を推進し、本県の経済活性化を進めて参ります。

## 性犯罪の抑止と被害者支援の拡充(平成26年度 新社会推進商工委員会)

本県における性犯罪の認知件数は4年連続で全国ワースト2位、検挙率は50%前後と低迷しています。総合的な支援を提供出来るワンストップの支援窓口が必要と訴えてきました。その結果、平成25年には「性暴力被害者支援センター」が開設されました。今後は24時間体制の確立や警察関連では対応にあたる女性警察官の更なる増員、被害者への支援の拡充を訴えて参ります。

### 経済・雇用・地域振興

- 東日本大震災の被災地進行について
- 公共工事の入札制度について
- 外郭団体が保有する仕組み債について
- ふるさと納税について
- 復興関連予算の取り扱いについて
- 国際交流事業について
- 東京五輪と本県のあり方について
- コンビニ等との包括提携協定について
- 九州北部豪雨からの復旧対策について
- 外国人観光客の本県誘致について

### 教育・人権擁護

- 発達障がいに対する支援について
- 我が県の領土教育について
- 学校施設の耐震化について
- がん教育の推進について
- 学校給食問題について
- 世界に打って出る若者育成事業について
- 通学路の安全確保対策について

### 福祉子育て・治安環境男女共同

- がん対策の推進について
- 高齢者介護について
- 障がい者優先調達推進法の取り組みについて
- 飲酒運転撲滅対策について
- 県スポーツ推進計画の策定について

### 議会改革

- 政務活動費の適正な活用について
- 議会の質問のあり方について
- 政治資金収支報告について

その他たくさんの県民の皆さんの声を議会でお話ししました。

